



高体連釧根支部大会結果報告 No2

【女子バスケットボール部】

- 1 期間 令和3年5月21日(金)～23日(日)
- 2 会場 湿原の風アリーナ釧路
- 3 チーム 出場校 女子9校(出場チームは8)
本校女子は連合チーム(羅臼3名・厚岸翔洋2名)を編成して大会に参加
- 4 結果 1回戦 連合 54-116 中標津高校
短い時間で選手交代を繰り返すのがバスケの戦い方ですが、選手が5名しかいない連合チームは休まず最後まで走り続けました。結果は大差で負けたように見えますが、よい戦いをし、存在感を示しました。



↑ 左から、川端・天神・厚岸翔洋2人・岩間

男子2回戦第2試合目の試合運営を担当 → オフィシャル・審判・モッパー全て羅臼高校が担当しました。
審判：(左)嶽山教頭先生、(右)坂本先生



【男子バスケットボール部】

- 1 期間 令和3年5月21日(金)～23日(日)
- 2 会場 湿原の風アリーナ釧路
- 3 チーム 出場校 男子17校
- 4 結果 1回戦 羅臼 89-63 標茶高校
2回戦 羅臼 47-110 釧路北陽高校
標茶戦は試合開始直後、スターター全員の動きが堅く、ことごとくシュートを外す展開となったが、1Q後半から本来の動きとなり逆転、そのまま逃げ切った。
2回戦の釧路北陽高校(優勝チーム)戦は、とにかく、試合開始直後から「全開でいく」という感じで入った。釧路北陽チームはガード2人に前からプレスをかけてきた。ガードの中陣聖晴、小野達也は苦しい状況でも逃げず、マークマンを振り切りボールを運んでいた。オフェンスでは、なんとかドライブしてシュートまでいくが、リバウンドをことごとく奪われサイドアウトから速攻に繋がれるという連鎖をなかなか止められなかった。スピードや力強さはそれほど差を感じなかったが、ポジショニングと判断の早さは違いがあった。日々の練習で5対5(試合形式の)ができるかどうかの差が出たのだと感じた。ともあれ、優勝チームの釧路北陽高校に対して、堂々とした戦いを見せてくれました。



高体連支部大会は、厳重なコロナ感染症対策を施した上でおこなわれました。

羅高の皆さん
応援ありがとうございました。

知床未来中学校バスケット部の皆さん
中体連大会がんばって下さい！